② JR 相模原駅周辺地区のまちづくり

地区全体のまちづくりの方向性の検討

広域交流拠点整備計画における相模原駅周辺地区の課題

1　土地利用
- (1)一部返還地を活用した新たな都市拠点の形成
- (2)駅南北の連携強化
- (3)既存商店街を中心とした南口の活性化
- (4)施設の老朽化への対応や集約化に向けた行政機能の再編

2　交通ネットワーク
- (1)小田急多摩線延伸の実現に向けた取組の推進
- (2)ＪＲ横浜線連続立体交差化に向けた取組の推進
- (3)町田街道、多摩地域からのアクセス強化
- (4)国道１６号から駅北側へのアクセス強化
- (5)橋本と相模原の連携強化
- (6)道路用地返還の早期実現による矢部・西門へのアクセス確保

※下線はＪＲ横浜線の連続立体交差化により課題への効果が見込まれるもの



広域交流拠点整備計画の課題を改めて整理し、　まちづくりの方向性を改めて検討

まちづくりの方向性（重点整備地区）

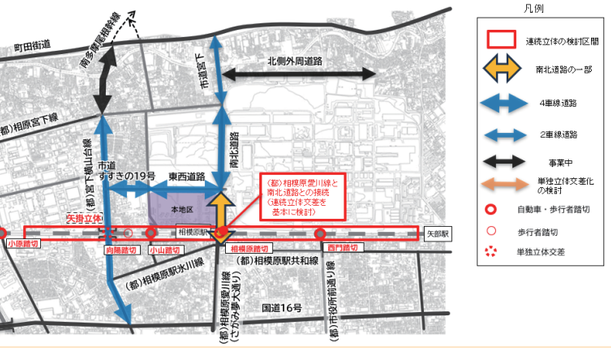


JR 横浜線連続立体交差化などの検討をしています

相模原駅北口地区土地利用計画

令和7年8月に本計画を策定し、同年10月28日に、土地所有者である財務省の関東財務局長に提出しました。
今後は、本計画に沿った土地の処分及び土地利用が図られるよう、必要な基盤整備と並行して用途地域、地区計画などを含む都市計画決定に向けて、国を含めた関係機関との協議を進めます。







③ 次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり

【複合化対象施設】
以下の6施設を集約・複合化します。
- 図書館・視聴覚ライブラリー
- 大野北公民館
- 大野北まちづくりセンター
- 青少年学習センター
- あさひ児童館
- さがみはら国際交流ラウンジ



第２ステップ

【駅前市有地等】
- 駅前での機能維持を前提に再整備（自転車駐車場）
- 自転車駐車場再整備での活用（まちセン・公民館等敷地）
- 売却・貸付け等による財源確保

第１ステップ

【鹿沼公園】
・残す施設⇒児童交通公園、白鳥池、遊具広場、築山
・位置を検討し、残す施設⇒テニスコート
・廃止施設⇒軟式野球場、水生植物池

【敷地の一体的な利用】
複合施設整備に伴う鹿沼公園への影響を抑えるため、鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用して再整備を行います。

令和7年3月に「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン～鹿沼公園・複合施設整備基本計画～」を策定しました。6つの公共施設の集約・複合化、鹿沼公園全体のリニューアルにより、まちの課題を解決し、まちづくりビジョンに示す「人・活動・居場所がゆるやかにつながる 図書館と公園のあるちょうどいいまち淵野辺」の実現にむけて進めます。

第１ステップの想定スケジュール（事業契約後）

設計・建設から供用開始までの想定スケジュールは以下のとおりです。
詳細なスケジュールは、民間事業者の提案に基づき市との協議により定めます。
なお、供用開始後の維持管理期間を含めた全体の契約期間は令和２８年３月までをしています。

	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
複合施設	設計		建設	開館準備	供用			
	都市計画変更手続等							
鹿沼公園	設計		公園改修　（部分供用しながらゾーンごとに改修・開園）					供用
臨時駐車場		建設	供用			撤去		
駐車場ゾーン	既存施設（図書館）の供用 ※．本事業対象外				移転 解体撤去（図書館）	建設	供用	

第２ステップの取組内容

令和８年度は、ＧＰＳの位置情報を活用し、淵野辺駅南口周辺の人流分析や将来予測を行うとともに、現在や将来のまちの姿を仮想空間上で表現しながら、駅前に相応しい土地利用や駅前広場等の周辺インフラの整備について検討していきます。